



图书基本信息



内容概要

戦時下、前線に赴く兵士を見送った家族が死守した銃後の本土日本。
深刻な食糧不足や激化する空襲のなか、人々は何を考え、何を感じていたのか。
厳しい言論統制を行い、国民の日常会話も監視した治安当局は、民衆の流言蜚語や不穏投書を克明に記録した。
『特高月報』等のこれら治安史料と日記を駆使し、庶民の心情と実態に迫る異色の戦時下日本の歴史。



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>